

小学校 第3学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「ろくべえについて知ろう」

2 題材設定の理由

ろくべえは、島原地方に昔から伝わる郷土料理である。ろくべえの特徴や由来、先人の知恵を知り、郷土料理について親しみをもたせることで、郷土を愛する心を育てたいと考え、本題材を設定した。

3 本時の目標

ろくべえについて知り、郷土料理を大切にしようとする意欲をもつ。

4 食育の視点

自分たちの住む地域には、昔から伝わる料理があることがわかる。(食文化)

5 他教科との関連

社会科 「見つめてみよう わたしたちの町」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料
食前	○ろくべえの原材料を知る。	○今日の給食のろくべえに使われているいもを3択クイズで考えさせる。 ①じゃがいも ②さつまいも ③里いも	いもの実物
	○ろくべえの由来や作り方について知る。	○正解は②のさつまいもで、ろくべえは島原産のさつまいもを乾燥して、粉にしたものを使っていることを説明する。 ○ろくべえの由来や作り方を写真等を用いて説明する。	作る過程やろくべえおろしの写真
食事中	○ろくべえを味わって食べる。	○食後に感想を聞くことを知らせ、よく見て味わって食べるように促す。	
食後	○食べた感想を発表する。 ○郷土料理について興味をもって、大切に食べようとする意欲をもつ。	○見た目・味・食べた感じ等を発表させる。 ○郷土料理に興味をもって大切に食べようとする意欲をもたせる。	

7 指導のつながり

- ・指導に使用した写真を掲示し、郷土料理に関心をもたせる。
- ・他の郷土料理についても、掲示物や放送資料、たより等で紹介し、地域の産物への興味・関心を深めさせる。